

平成27年度神奈川県地域商業ブランド確立総合支援事業 採択一覧表

(申請順)

	事業実施団体	代表者名	市町村名	事業概要
1	上町商店街連合会	会長 今関 直志	横須賀市	夏の灯ろうまつり、秋のハロウィン、春の桜まつりを地域資源とし、“うわまち浪漫”の統一コンセプトにより実施する中で、大学生と連携して上町地区の活性化ビジョンの研究・企画やイベントの企画実施を行うことなどにより、「上町エリア」を地域ブランドにしていく事業
2	箱根宮ノ下商店会	会長 嶋 幸嗣	箱根町	外国人観光客等が多い地域特性を活かし、各店舗のショーウィンドウに今昔写真や懐かしい逸品を展示した「宮ノ下セピアコレクション」や「商店街観光ツアー」を実施し、外国人観光客等の誘客及び地域の賑わいの創出につなげることで、「箱根宮ノ下地域」を地域ブランドにしていく事業
3	横浜駅西口五番街商店会協同組合	理事長 七尾 弥三郎	横浜市	サッカーJ2横浜FCを地域資源とし、横浜FCとの共催による「西口五番街・横浜FCフットサル大会」「フットサル五番街商店会利用促進事業」等の実施、サッカーボール仕様の街路灯カバーへの交換などを通じて、横浜FCのサポーターを作り、育成するとともに、商店街にサポーターが集う仕掛作りを行うことで、「横浜FCサポートタウン」を地域ブランドにしていく事業
4	藤が丘商店会	会長 佐々木 恵美子	横浜市	昭和大学藤が丘病院がある街という地域特性を活かし、「心豊かで健やかな暮らし」をテーマに、近隣住民向けのフリーペーパー「Fujigawalker」（ふじがウォーカー）の発行や、「藤が丘笑店会川柳コンテスト」等をあわせて行いながら、商店街の店主の魅力や匠の技を伝える商店会ミニカルチャー講座「藤・カルチャー・カフェ」（まちゼミ）を地域ブランドにしていく事業
5	武蔵小杉駅前通り商店街振興組合	理事長 大野 省吾	川崎市	「コスギフェスタ」を地域資源とし、武蔵小杉駅周辺の増加するマンション住民等の子どもたちのふるさとにするため、特定非営利法人小杉駅周辺エリアマネジメントと連携して「ハロウィンスタンプラリー」「街歩き&食べ歩き」「カレーフェア」等を実施し、「武蔵小杉エリア」を地域ブランドにしていく事業
6	相模原西商店街協同組合	理事長 中里 和男	相模原市	フリーマーケット方式の出店による「アートフェスティバルinさがみはら」を地域資源とし、顔と顔を付き合わせる事が出来るフリーマーケットのような空間の中で、地域の人たちによるアート作品や手作り作品の展示販売により、人と人の触れ合う場のイメージや集客力の向上につなげ、「相模原市西商店街エリア」を地域ブランドとしていく事業

	事業実施団体	代表者名	市町村名	事業概要
7	寒川駅北口商店会	会長 臼井 剛	寒川町	「地元を知ろう ちょい体験 さむかわ」及び「寒川神社の街ぶらり散歩ツアー」を地域資源とし、子どもからお年寄りまで低価格で気軽に遊び・学び・食べられる“ちょっとだけ体験”や、1500年余りの歴史を有する寒川神社等を巡るツアーを実施し、寒川の歴史や文化の魅力を発信し、「寒川エリア」を地域ブランドにする事業
8	湘南台商店連合会	会長 最上 重夫	藤沢市	大相撲藤沢場所が開催されるという地域特性を活かし、年2回絵番付を利用した相撲グッズの当たるクイズの実施や、歳末感謝祭で（公財）日本相撲協会から力士を招き、本格ちゃんこを無料配布することで、「大相撲を応援する商店街」を地域ブランドにする事業
9	丸山台商店会	会長 本間 泰輔	横浜市	ロードサイド型で約150店の事業者が集まる港南区最大規模の商店街という地域特性を活かし、スタンプラリーや飲み歩きなどによる丸山台ハロウィンや、各個店の個性を活かした商品やサービスを露店で提供する「丸山“大（だーい）”ホコテン2016」等個性あるイベントの実施により、「丸山台いちょう坂商店街」を地域ブランドにする事業
10	チネチッタ通り商店街振興組合	理事長 猪熊 俊夫	川崎市	映画館やライブホールと一体となった商店街のイタリア風の街並みを地域資源とし、季節折々のイベント（青空及び欧州マルシェ、蚤の市、夏祭り、小川町バル及びハロウィン・バーホッピング、Today's Art Kawasaki、X'masイルミネーション&噴水ショーによる光と音楽ショー）の開催を組み合わせ、“日常的賑わいの創出”と“非日常的な”空間を創造することにより、「街のエンターテイメント性」を地域ブランドにしていく事業
11	一般財団法人川崎新都心街づくり財団	理事長 中島 眞一	川崎市	『食とアートの祭典「しんゆりマルシェ」「アート市 in アルテリッカ」「しんゆり映画祭」等を地域資源とし、“芸術のまち新百合ヶ丘”のコンセプトに基づき、NPOや中高生・大学生等と連携して各種イベントを実施し、「芸術のまち」を地域ブランドにしていく事業
12	野毛商店街協同組合	理事長 茂呂 弥太郎	横浜市	横浜を代表し文化的公共財であるジャズを地域資源とし、オリジナル盆踊り、若手ミュージシャンコンテスト、街対抗大綱引き等や、外国人や来街者の利便性の向上につながるフリーWi-Fiの整備等により、「野毛エンターテイメントと大衆文化」を地域ブランドにしていく事業

	事業実施団体	代表者名	市町村名	事業概要
13	ローカルファースト研究会	代表 浅野 真澄	茅ヶ崎市	個性的な路面店が多い茅ヶ崎市の地域特性を活かし、市民一人ひとりが地元を優先する「ローカルファースト」の価値観を持って行動・生活することが、地域活性化につながることに着目し、空き店舗を活用した「ローカルファーストカフェ」の開設や「ローカルファーストシンポジウム」、地元高校生や大学生に作成を依頼する子ども向けリーフレットにより小中学校で紹介するほか、地元商店主の協力のもとで作成するガイドマップを市内に広めていくこと等により、「茅ヶ崎ローカルファースト」を地域ブランドにしていく事業
14	湯河原町商店街連合会	会長 村上 一夫	湯河原町	湯河原駅前通り明店街の手作り市「ぶらん市(ち)」や、特産品「夢豆花(ゆめとうか)」「(地元湯河原十二庵の豆乳を使用したスイーツ)」「みかんポン酢」の提供方法等を工夫するとともに、地元の食材を使用した新たな商品開発を進め、ここでしか買えない湯河原の名物とすることなどにより、「ぶらん市(ち)」及び「ぶらん市(ち)名物品」を地域ブランドにしていく事業
15	相模原中央商店街協同組合	理事長 横山 房男	相模原市	当商店街が主催した絵本コンクールの中から生まれた「こけ丸」を地域資源とし、こけ丸グルメなどを提供するカフェスペース等を活用するとともに、こけ丸グルメなどの更なる商品開発により、「誰もが笑顔で暮らす街」を象徴する「こけ丸」を地域ブランドにしていく事業
16	天王町商店街協同組合	代表理事 小森 義治	横浜市	鎌倉時代初期に建立された歴史と伝統のある橘樹(たちばな)神社を地域資源として、子ども歌舞伎教室及び奉納歌舞伎など継続事業に加え、近隣大学と連携して各年代を対象とした体験型事業「天王町立『橘樹ジンジャー学園』」の設立、商店街カレンダーの作成、シルクロードコンシェルジュ(仮称)などで賑わいを創出することにより、「次世代が継ぎたくなる商店街の歴史と伝統」を地域ブランドにしていく事業
17	オダワランド	代表 林 祐司	小田原市	小田原式屋台や小田原の特産物を活用したラーメン(食)を地域資源として、当地域の古き良きイメージをそのまま残しつつ、新たなイメージを構築するため、民間事業者と連携して地域特産品等を活用した屋台ラーメンイベントなどを実施することで、「小田原屋台フェスタ」を地域ブランドにしていく事業
18	モトスミ・オズ通り商店街振興組合	理事長 柳沢 正高	川崎市	近隣地域の再開発及び高層マンションの建設に伴い、子育て世代の住民が多い地域特性を活かし、オズ・フェスタにおける「地方交流体験広場」の開催、一店一子ども応援運動、地方物産の販売・活用を通じた商品販売及びメニューの付加価値化などを通じて、「安全・安心、子どもに優しい」商店街を地域ブランドにしていく事業

	事業実施団体	代表者名	市町村名	事業概要
19	日吉商店街連合会	会長 深瀬 武三	川崎市	<p>地元にゆかりのある太田道灌とその伝説を地域資源とし、同じ道灌ゆかりの伊勢原と連携した手作りかぶと教室やかぶとコンテストの実施、ゆるキャラ「どうかんくん」ブランドを活用したお酒や和菓子等の商品開発、まちゼミの実施などを行うことにより、「日吉まつり～道灌祭～」を地域ブランドにしていく事業</p>